

島地川ダム水源地域ビジョン 概要版

はじめに

本ビジョンは、平成18年3月に策定した「島地川ダム水源地域ビジョン」における基本方針を踏襲し、地域の実情を踏まえた新たな行動計画や推進体制など、ビジョンの取組方策や推進方策について見直しを図り、より実効性が高く持続可能なビジョンとなるよう取りまとめたものです。

島地川ダム水源地域の特徴

(1) 島地川ダムの概要

島地川ダムは、佐波川水系島地川の上流にある多目的重力式コンクリートダムで、「洪水調節」、「利水」、「河川環境の保全」の3つの目的で建設された多目的ダムです。



(2) 周辺地域の概要

島地川ダムが立地する和田地区は、平成15年4月に2市2町の合併に伴い市域となった周南市北部に位置し、中国山脈の支脈が起伏する山間地域です。

現在、和田の里づくり推進協議会を中心に、各種イベントの企画運営や様々な地域づくり活動を推進しています。



ビジョンの方向性と基本方針

(1) 情報基盤をつくる

- ・ふるさとの魅力をより多くの人に紹介するため、情報を整理・保存する。
- ・ふるさと情報マップをつくる。
- ・行政機関と連携して情報発信・企画の仕組みをつくる。

(2) 少子高齢化地区の体力・知力を集中させ、魅力あるテーマを実現化させる

- ・多くのことを一気に取り組むことは難しいため、当面取り組むべき活性化のテーマを絞り込み、効果を確実に得ていくことを目指す。
- ・和田地区内の各地域で顕在化させるべき資源を選定し、駐車場の確保、案内板の設置などを行う。
- ・島地川ダム「高瀬湖」の利用者や子供や家族連れが水辺で憩うことができる拠点を整備する。

(3) 「力」を利用し、集客力を高める

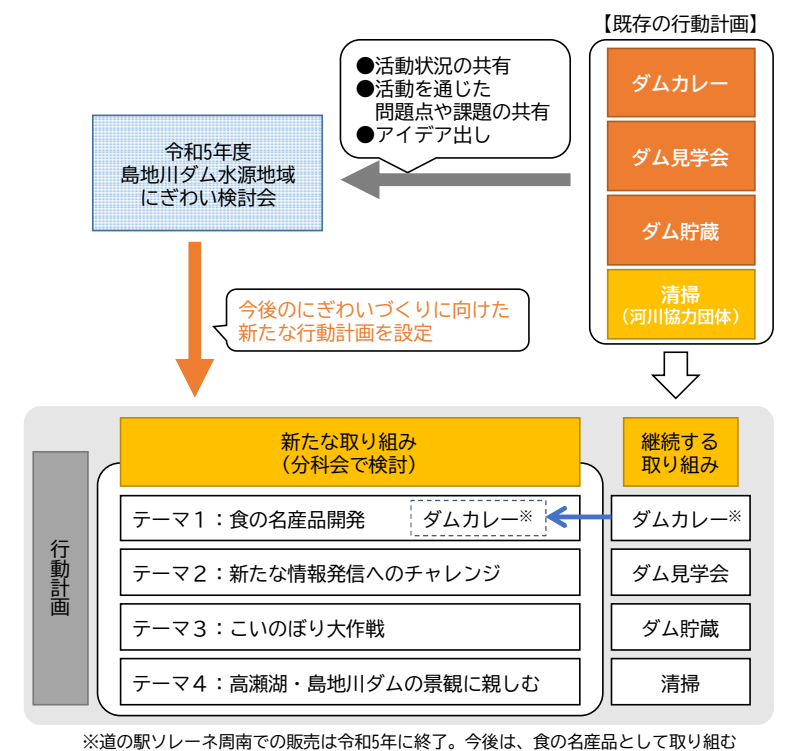
- ・既存イベントを活用するとともに、著名人などの「知名度」を借りてPRしていくことを検討する。また、防府市等との広域連携を視野に入れる。
- ・島地川ダムへの利用者に和田地区内を楽しんでもらえるようなルート案内や情報の発信をする。

ビジョンの行動計画

(1) 行動計画

今後の新たな取り組みとして「食の名産品開発」「新たな情報発信へのチャレンジ」「こいのぼり大作戦」「高瀬湖・島地川ダムの景観に親しむ」という4つのテーマに基づいて、にぎわいづくりを推進していきます。

また、地域だけではなく、ダム管理者や周南市、山口県とも情報共有を図りながら、地域の状況変化に応じて行動計画の見直しや拡充を図ることとします。



(2) 継続する取組内容

ダムカレー、ダム見学会、ダム貯蔵及び清掃は今後も継続して実施をしていきます。

島地川ダム水源地域ビジョン 概要版

食の名産品開発

(1) 食の名産品開発

1) 飯場めし

飯場めしのご飯ものとして『わだめし』、揚げ物として『(仮称) 高瀬こんにゃくカツ』(開発中)を開発し、わだめしは、にぎわい検討会で試食も実施しました。

飯場めし	名称及び飯場めしとしての特徴
	■名称：ダムカレー ■特徴： - 飯場飯の第1号として『島地川ダムカレー』が開発されました。 - 島地川ダムカレーは、<u>上下流ともルーを配置</u>した、まさに<u>飯場でのチカ</u> <u>ラ飯</u>となるダムカレーに仕上げました。 - 道の駅ソレーネ周南での販売は終了しており、現在は、和田地区で開催されるイベント時に販売しています。
	■名称：わだめし ■特徴： - 炊き込みご飯は、ごはんの具のおいしさに移すもの、後から混ぜて具の持ち味を生かすものなどがあり、中に入れる具によって、四季の味が楽しめます。 - 具材の一つに高瀬特産の高瀬茶を混ぜ込むことで、程よくまろやかな<u>渋み</u>と高い香りも楽しめる和田地域オリジナルのとして開発しました。
	■名称：(仮称) 高瀬こんにゃくカツ (開発中) ■特徴： - こんにゃくカツは、こんにゃくとトンカツを融合させたものです。揚げ物だけどこんにゃくなので低カロリーで罪悪感なしに食べられます。 - こんにゃくに高瀬特産の田舎こんにゃくを使用することで、<u>独特な舌触り</u>が特徴の和田地域オリジナルのこんにゃくカツとして開発しました。

2) 飯場スイーツ

飯場スイーツとして『高瀬茶入りマドレーヌ』を開発し、にぎわい検討会での試食も実施しました。

飯場スイーツ	名称及び飯場スイーツとしての特徴
	■名称：高瀬茶入りマドレーヌ ■特徴： - 貝殻型のマドレーヌは、日本では1960(昭和35)年に東京都の洋菓子店のCADOT(カド)が販売したことで人気を博し、1970年代には皿形のマドレーヌが家庭でも作られるようになり、庶民のおやつとして好評でした。 - マドレーヌに高瀬特産の高瀬茶の粉末を入れることで、和田地域オリジナルのマドレーヌとして開発しました。

食の名産品開発

(2) 販促物の作成

開発した飯場飯の販売促進に向けて、包み紙とポスターを作成しました。



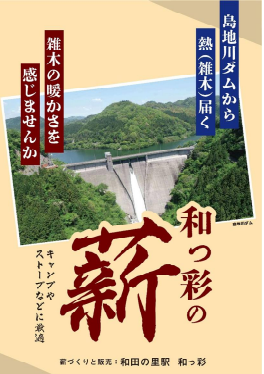
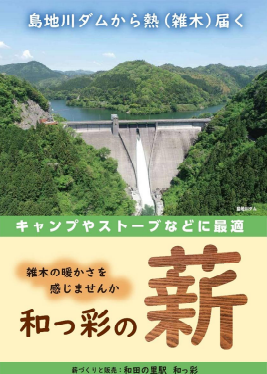
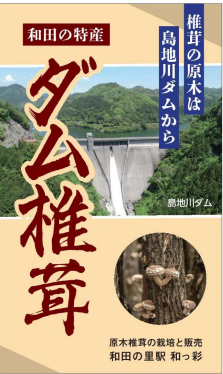
(3) 島地川ダムブランドの開発

島地川ダムブランドとして「もち」の商品開発の他、「もち」、「椎茸」及び「薪」の商品ロゴを作成しました。

もち及び椎茸のロゴは商品に張り付けるシール(名刺サイズ)を想定、薪のロゴは店頭に掲げ下げるカード(A4サイズ)としており、椎茸及び薪は、令和7年11月22日(土)の和っ彩マルシェで活用されました。

もちは、2種類のもちを開発し、にぎわい検討会で試食も実施しました。

もち	名称及び特徴
	■名称：玄米もち、高瀬茶もち ■特徴： - 和田地域の高瀬で川渡り餅という話が残っています。また、平成26年には、和田地区で「餅-1グランプリ」が開催され世界記録を達成しました。 - 和田地域で収穫された餅米を用い高瀬特産の高瀬茶と一緒に<u>つく</u>ことで<u>香り高い</u>和田地域オリジナルのモチとして開発しました。



島地川ダム水源地域ビジョン 概要版

新たな情報発信へのチャレンジ

(1) 好きです わだ! の作成

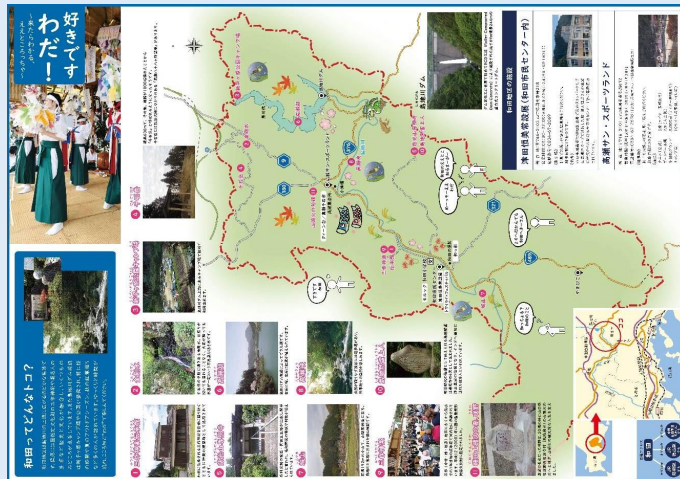
表面は、地図に等高線があったり、写真や文字が多い等、情報量が多い状況でした。それを、地図に和田の方言も入れる等、和田の特徴が伝わるように工夫しました。

裏面は、散策ルートの説明が主たる内容でした。それを、テーマ毎に主たるイベントを紹介するとともに、津田恒美や年間のイベントを紹介する等、見た人の興味・関心を持ってもらえるよう工夫しました。

また、従来の大判（B2）サイズに加え、持ち運びが便利なダイジェスト版（A3）サイズを新たに作成しました。

1) 大判（B2）

■表面



■裏面



2) ダイジェスト版（A3）

■表面



■裏面



新たな情報発信へのチャレンジ

(2) 島地川ダムホームページの更新

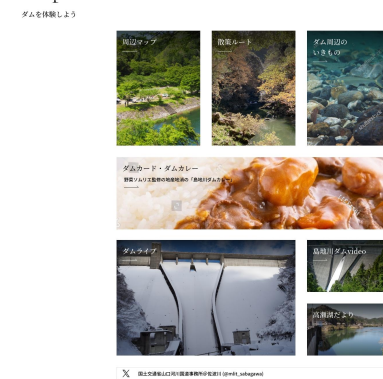
山口河川国道事務所 HP の更新にあたり、以下に示すデザイン（案）で検討を進めています。

デザイン案

《トップページ》



Experience



《下層ページ》※一部、抜粋



自然とともに息づく、
島地川ダム

About

島地川ダムについて



三 島地川ダム



Experience

島地川ダムは山口県周南市に位置する多目的ダムで、



国土交通省山口河川国道事務所@佐波川 (@mit_sabagawa)

島地川ダム水源地域ビジョン 概要版

こいのぼり大作戦

(1) 掲揚場所の検討

こいのぼりの掲揚場所として、島地川ダム周辺では、①島地川ダム、②島地川ダム管理支所周辺、③網場、④木谷公園を検討しています。



(3) こいのぼりの掲揚イメージ

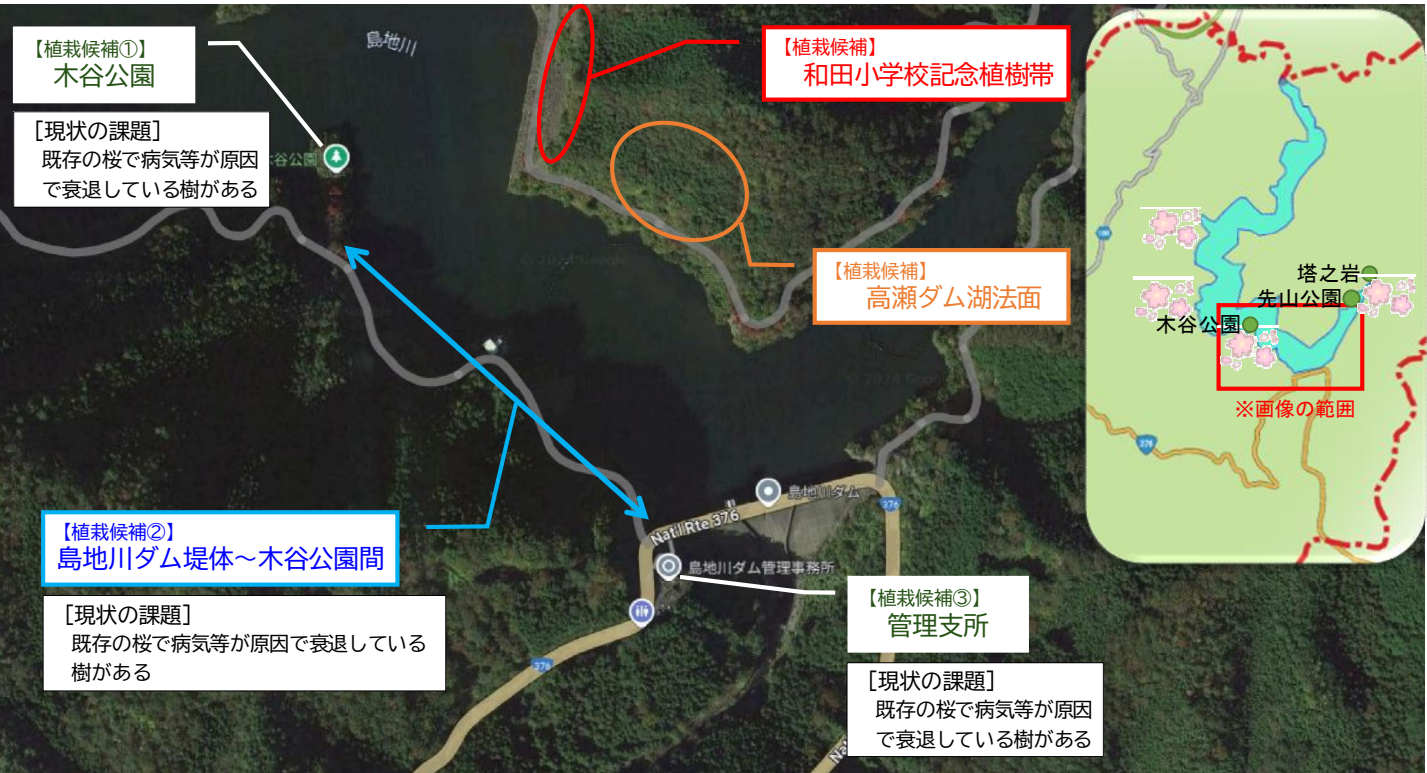
上記の候補地におけるこいのぼりの掲揚イメージは以下のとおりです。

①島地川ダム	②島地川ダム 管理支所周辺	③網場	④木谷公園	周南市和田支所
				
■特徴 >ダムの上から鑑賞 >高瀬峡の犬なき橋の先で「秘境感」がある	■特徴 >国道及び支所前の広場から鑑賞可能	■特徴 >湖面を泳ぐこいのぼりが楽しめる >水中掲揚は全国的にも珍しい	■特徴 >こいのぼりと桜を同時に鑑賞することも可能	■特徴 >国道からの鑑賞を想定 >下流側の新たな掲揚場所となる
■掲揚数（想定） 約10匹（約3m/匹）	■掲揚数（想定） 約10匹（約3m/匹）	■掲揚数（想定） 約100匹（約5m/匹）	■掲揚数（想定） 約4匹（約3～4m/匹）	■掲揚数（想定） 約7～8匹（約3m/匹）

高瀬湖・島地川ダムの景観に親しむ

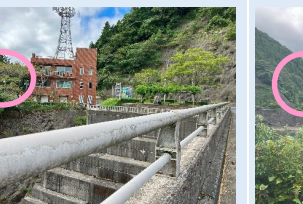
(2) 桜の植栽場所の検討

桜の樹が病気等で傷んでいること、ダム周辺では桜の樹を植樹する場所が限られていることが課題です。
島地川ダム周辺での景観形成にあたって、人が滞留する木谷公園や島地川ダム堤体～木谷公園間、島地川ダム管理支所を優先的に対策し、和田小学校記念植樹帯や高瀬ダム湖法面も順次対応します。



(3) 桜の植栽場所の状況

上記の候補地における桜の生育状況は以下のとおりです。

①木谷公園	②ダム堤体～ 木谷公園間	③島地川ダム 管理支所周辺	高瀬ダム湖法面	和田小学校 記念植樹帯
				
	○：桜の植栽場所	○：桜の植栽場所	○：桜の植栽場所	
《てんぐ巣病》 カビの一種が原因で発生する伝染病で、病気にかかった枝についた葉の裏面に形成された病原菌の胞子が空気中に飛んで感染していきます。 感染すると枝が異常に発生して、花が咲かなくなる病気です。 放置しておくとう感染した枝はやがて衰弱し、枯死してしまいます。 現時点では、病巣部を切除するしか有効な対策はありません。 一度の除去作業では取り残しなどがあるため、最低3年間は継続して除去作業を行うことが重要です。 桜の中でも「染井吉野」は感染しやすい品種と言われています。				
				

島地川ダム水源地域ビジョン 概要版

ビジョンの推進体制

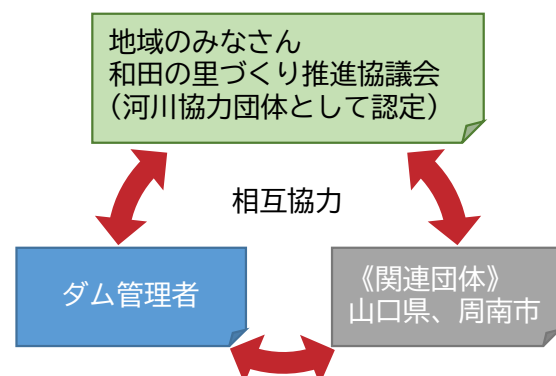
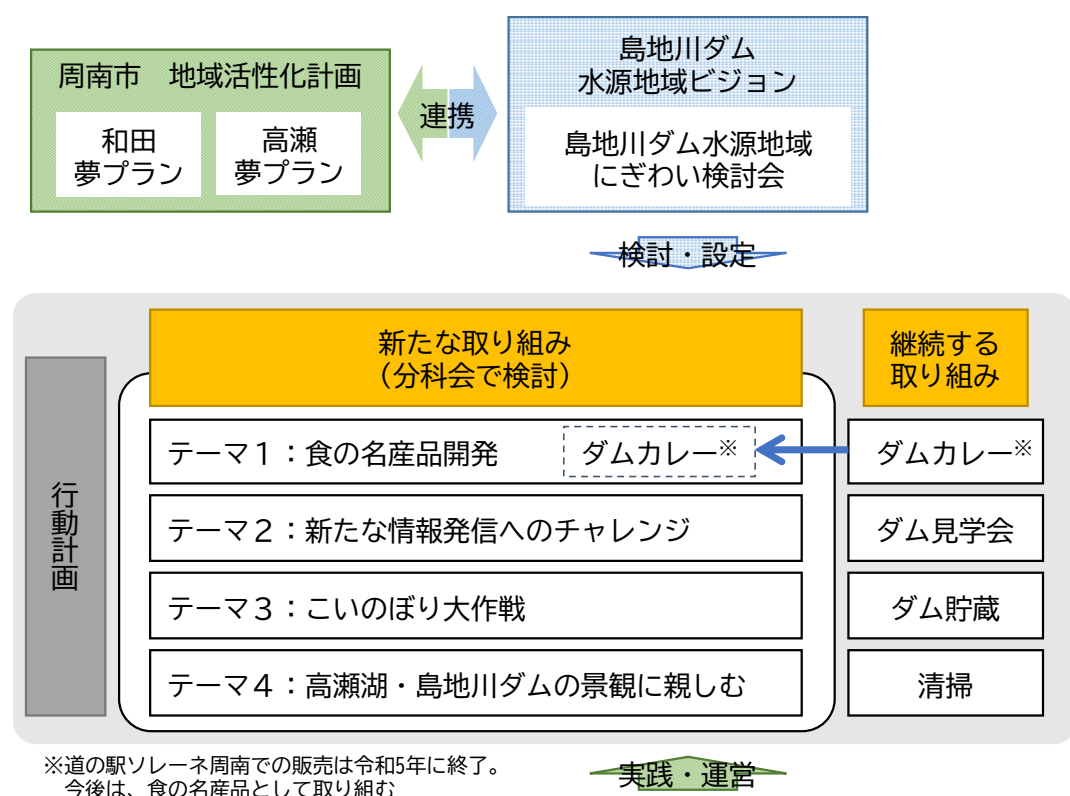
これまでの活動は「高瀬をよくする会」や「和田の里づくり推進協議会」をはじめとする地域の団体や個人が協力しながら進めてきました。しかし、それぞれの活動には活動資金や材料、場所などが必要であり、これらすべてを地域で確保し続けるには限界があります。

そのため、今後の行動計画に基づく活動は、ダム管理者から、地域に依頼する形式を想定し、活動資金や情報提供など今まで以上に協力に対する支援を行います。

また、4つの行動計画が確実に実践されるよう「島地川ダム水源地域にぎわい検討会」の下に「テーマごとの分科会」を設け、地域の皆さんに参加いただきながら進める形式とします。このとき、分科会への参加は、地域の団体ごとではなく、個人それぞれの興味や知識、得意分野を活かせるような枠組みとします。

分科会での活動は、令和6年度より開始し、分科会の上位として、にぎわい検討会も並行して開催し、全体の調整や課題・情報の共有などを行います。

なお、ダムカレーやダム見学会、ダム貯蔵、清掃についても継続して取り組んでいきます



参考：「島地川ダム水源地域ビジョン【改定版】」の策定経過

令和3年度以降のにぎわい検討会や新たな行動計画における分科会の実施状況は下図のとおりです。

令和6～7年度は、「食の名産品開発」及び「新たな情報発信へのチャレンジ」の2つの分科会を開催しました。

令和8年度以降は、「食の名産品開発」、「こいのぼり大作戦」及び「高瀬湖・島地川ダムの景観に親しむ」を中心に継続または具体的な展開を図ります。

